

歴史で知るかんぽ生命

1916年10月、簡易生命保険は、「簡易な手続きで、国民の基礎的生活手段を保障する」という社会的使命を持って誕生しました。当社はその社会的使命を受け継ぎつつ、全国津々浦々の郵便局を通じて簡易で小口な生命保険をお客さまにご提供するとともに、あたたかいお客さまサービスの向上に取り組んでまいりました。これからも、当社の強みであるお客さまからの親近感、信頼感をさらに高めてまいります。



東京証券取引所市場第一部へ上場 ●

生命保険業の開始に伴い、株式会社かんぽ生命保険に商号変更 ●

郵政民営化法に基づき、
株式会社かんぽ設立 ●

2006年
(平成18年)

新簡易保険制度の発足 ●

1991年
(平成3年)

1981年
(昭和56年)

● 新郵便年金の実施



現在のラジオ体操第一を制定、放送開始 ●

1951年
(昭和26年)

1928年
(昭和3年)

● 国民保健体操(旧ラジオ体操)の開始

1926年
(大正15年)

● 郵便年金事業創業

1916年
(大正5年)

● 簡易生命保険事業創業



ラジオ体操の様子



簡易生命保険 保険証書

2007年
(平成19年)

2015年
(平成27年)

2016年
(平成28年)

● 経営理念の改定

● 簡易生命保険誕生100周年



かんぼ生命
企業キャラクター
かんぼくん

経営理念・経営方針・行動指針

私たちかんぼ生命の経営理念は、お客さまによりそい、一人ひとりの人生を守り続けていくために、全社員一丸となって歩んでいくという、決意を表しています。

この経営理念を胸に、次の100年に向けて持続的な成長の礎を築き、お客さまから信頼され、愛される会社であり続けるよう取り組んでまいります。

経営理念

いつでもそばにいる。どこにいても支える。
すべての人生を、守り続けたい。

経営方針

かんぼ生命保険は、お客さまから選ばれる真に日本一の保険会社を目指します。

1. お客さま一人ひとりの人生によりそい、分かりやすい商品と質の高いサービスを提供します。
2. お客さまにより良いサービスを提供するため、お客さまと接する社員が力を発揮する態勢を整備します。
3. 社員一人ひとりが成長でき、明るく生き生きと活躍できる環境をつくります。
4. コーポレート・ガバナンスの確立による健全な経営を行い、常に新しい価値を創造することで、持続的な成長を生み出します。
5. 健康促進、環境保護、地域と社会の発展に積極的に貢献します。
6. すべてのステークホルダーと密接なコミュニケーションを図ります。

行動指針

1. 私たちは、いつでもお客さまを第一に考えて行動します。
2. 私たちは、ともに働く仲間と一体となって、心のこもったサービスを提供します。
3. 私たちは、常に自己研鑽し、新たなことに挑戦して、会社の成長と社会の発展に貢献します。
4. 私たちは、社会の一員として高い倫理観を持ち、コンプライアンスを徹底します。
5. 私たちは、人権を尊重し、多様な人材が働きやすい職場をつくります。



数字で見る かんぽ生命



(注1)連結。

(注2)親会社株主に帰属する当期純利益。

(注3)「業界No.1」は2017年3月末の生命保険会社各社公表値を基に、当社が算出。

新契約年換算保険料

(個人保険) 業界No.1

5,079億円

(第三分野)

557億円

(注3)

Page to
20

保有契約年換算保険料

(個人保険)

4兆9,796億円

(第三分野)

7,361億円

(注4)

Page to
21

郵便局ネットワーク

20,050局

(注7)

Page to
11

(注4) 保有契約には、当社が管理機構から受再している簡易生命保険契約(個人保険は簡易生命保険契約の保険に限る。)を含む。

(注5) 契約者さまおよび被保険者さまを合わせた人数(個人保険及び個人年金保険を含み、当社が管理機構から受再している簡易生命保険契約を含む。)

(注6) 保険金、年金、給付金、返戻金等の保険契約上のお支払いを計上したもの。

(注7) 生命保険募集を行う郵便局数。

新契約件数(個人保険)

244万件

Page to
20

お客さま数

2,948万人

(注5)

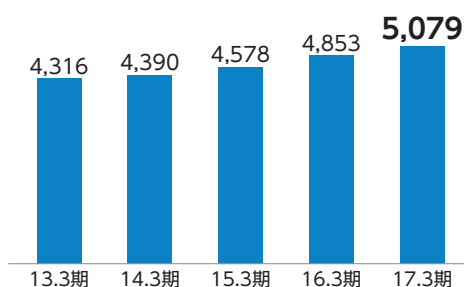
Page to
32

CLOSE UP

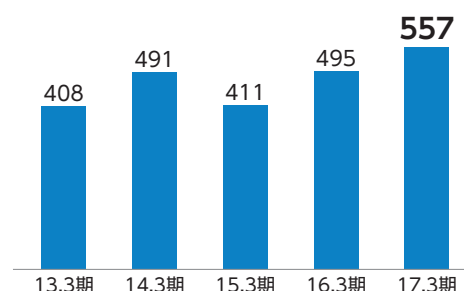
新契約年換算保険料

個人保険・第三分野ともに、民営化以降の最高を記録

新契約年換算保険料(個人保険)の推移 (億円)



新契約年換算保険料(第三分野)の推移 (億円)



保有契約件数(個人保険)

3,156万件

業界No.1

(注3)
(注4)

Page to
21

お客さまへ お支払いした 保険金等

7兆5,503億円

業界No.1

(注3)
(注6)

Page to
25